

実働訓練項目

想定	項目	訓練内容	実施機関
想定1	情報伝達	ナレーションのみ	海保
想定2	警察・呉市港湾漁港課による危険区域の設定及び港湾作業員の避難誘導 警察・海保による外国船への警戒	不審者侵入の外国船が着岸する岸壁において、警察官及び呉市港湾漁港課職員による危険区域が設定され、港湾作業員の避難を誘導。  警察車両及び機動隊により岸壁上を囲い込み、不審船から上陸ができない状態にする。 海上において巡視艇が警戒を開始する。	警察 呉市  警察 海保
想定3	海保・税関による船内検索	不審者情報の確認のため、海保・税関により船内検索班を編成のうえ、船内検索を実施する。 船内検索班により船内の立入制限区域において不審な開放を確認する。	海保 税関
想定4	不審者の出現・小型ポートでの逃走、巡視艇による追尾・制圧	立入制限区域から不審者が出現し、船内検索班に抵抗。 不審小型船に移乗して逃走を図ったため巡視艇により追尾。 停船命令を行うも従わず、相手船が小銃を発砲、威嚇射撃を実施するも逃走を継続、再度の発砲を受け、正当防衛射撃を実施。逃走船が停船、制圧班により不審者の身柄を確保する。	海保
想定5	陸岸における船員の確認、不審物他手荷物検査	不審者の制圧後、乗組員については上陸のうえ、入国審査官による審査(パスポート・指紋)、続いて税関X線車により手荷物検査を実施。 この際、手荷物検査を拒む船員が現れる。	税関 入管局
想定6	不審者と内通する船員の逃走阻止・制圧逮捕・爆発物処理	手荷物検査を拒む船員は逃走を試みるも機動隊員と相対、刃物を取り出して威嚇、攻撃を試みるが、機動隊によって制圧、逮捕となる。犯人の所持品が爆発物であると判明し、爆発物処理班により爆弾の処理を行う。	警察 県警機動隊